

第13期 2017年度事業報告書
(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
特定非営利活動法人 トランスペアレンシー・ジャパン (TI-J)

1. 事業の成果

(1) 主な活動

腐敗防止のための情報収集・蓄積と普及・啓発事業を行った。

(2) 会議

① 国際会議等

5月 ・トランスペアレンシー・インターナショナル(本部・ベルリン、略称TI)の有志支部の主導でTI運営に関するウェブ会議が行われ、若林理事がウェブ参加(会議を受け内部改革の機運が高まり10月に本部会長が交代、

7月 ・TIニュージーランド主催でTIアジア太平洋地域ウェブ会議が行われ、若林理事が参加(台湾支部が2018年アジア太平洋支部有志会議の主催を表明し、後にTIのアジア太平洋地域会議に格上げされることとなった)。

10月 ・TIの年次総会がドイツのベルリンで行われ、高橋理事が出席。理事の改選選挙があり会長が交代、それに伴い事務局長も新任され体制一新された。

② 一般会議

6月13日 理事会

6月23日 通常総会

③ 理事運営委員会会議 理事MLでの会議を随時に行った

(理事MLへの議事・意見の投稿は年度計83通)

内容 旅費規程、事務局報酬規定、外部講師派遣手順を作成した

会計、翻訳・通訳、資料作成についてクラウド外注サービス利用を進めた

(3) 対外活動

通年 上場企業のインフラ部門にてコンプライアンス研修 3社5回
「各国競争法の執行事例から見たビジネス上の留意点について」
「ワイロの断り方と南アジアの贈賄事情」

「各国贈賄規制の基礎と実務的対応」「中国の贈賄事情」(北京語で)

「日本、英国、米国の賄賂規制」(若林、池田理事、会員、外部講師)

会員企業の求めに応じて外国の公務員倫理規定を調査 11カ国分

9月 アジアリーガルビジネス誌主催、企業倫理ガバナンスフォーラムに参加
(若林理事、日本語で開会挨拶、英語で進行役を担当)

11月 金融の清廉性に関するG20の取り組み追跡調査に参加(若林理事、西垣前顧問)

12月 トランスペアレンシー・インターナショナルの公式チャプター認証の
継続申請(池田理事)TI本部の体制刷新の余波で認証審査は一年延期に

1-3月 TIによるOECD贈賄防止条約の履行状況調査に参加(日本の執行を

調査、政府のレビューを得て本部に報告) (若林理事、外部専門家)

(4) 広報活動

T I 本部や支部の記者発表原稿を和訳してコメントをつけ、マスコミに送付したり HP で紹介。また、企業や非営利法人の研修資料や対外出版物に CPI やビジネス原則などの資料を使うときに必要な形でのテキスト送付など支援。

11月 「公営企業の腐敗防止10原則」(若林理事、会員2名)

12月 OECD贈賄防止条約の誕生20周年記念調査報告「外国公務員贈賄を見破る」

1月 CPI 腐敗認識指数(若林理事)

通年 「トランスペアレンシー・ジャパン事務局便り」を発行 メール版1-2か月毎、
郵送、FAX版 年1回
ホームページを更新 月1回

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施時期 | 実施場所 | 従業員数 | 受益者 | 支出額(千円) |
|-----------|-----------|------|----------|------|---------------|---------|
| 情報収集・蓄積事業 | 反腐敗の調査・広報 | 通年 | 事務所、 | 1名 | 反腐敗に関心ある企業・市民 | 210 |
| 普及啓発事業 | 研修、記者発表 | 通年 | 事務所 | 4名 | 同上 | 851 |
| 国際提携事業 | 国際会議参加 | 通年 | 開催地、ウェブ上 | 1名 | 同上 | 0 |

注 国際会議への参加のための旅費は主催者負担のため、本項支出には計上されない

(2) 収益事業については実施していない。

トランスペアレンシー・ジャパン 2018年度事業計画（案）

（1）一般国民向け（マスコミを通じた活動含む）

- ①汚職・腐敗が社会に及ぼす影響の啓発
（OECD 贈賄防止条約履行状況の広報 7月、CPI、腐敗認識指数の広報 1月など）
- ②国連の「汚職・腐敗防止の日」の広報活動（12月）
- ③公益通報者支援

（2）行政向け

- ①贈賄防止法制について政府に働きかける
 - A UNCAC 国連腐敗防止条約を締結したが、条約に定められた「腐敗防止の独立機関」の設置が見られないため、設置を促す
 - B 日本の不正競争防止法の域外適用を提言（米FCPA、英国贈賄防止法なみに）
 - C 贈賄防止後進国、とりわけその国の腐敗により日本の経済・社会にも悪影響が及ぶような国への贈賄防止体制の強化をOECD贈賄防止委員会やG20（2019年大阪で開催）、TIを通じ国際社会から求める
 - D 上記A-Cを12月の国連腐敗防止デーなどで宣言する。
- ②その他折々、汚職・腐敗防止に関係する国内法の整備・執行のための要望を伝える（オリンピック、資金洗浄対策、情報公開法、公益通報者保護法など）
- ③外務省、経産省、JICA、JETROなどに働きかけTIの腐敗防止活動の知識の蓄積を行政に活用してもらう

（3）企業向け

- ①贈賄防止や公共調達における公正競争の方策や企業倫理についてのセミナー開催
- ②腐敗防止にかかる国際潮流を紹介（セミナー、研修会の開催、講師派遣など）
- ③なお、昨年度に引き続き、今年度はトランスペアレンシー・インターナショナルから委託や後援を受けるセミナーは原則として行わない。トランスペアレンシー・ジャパンが主体的に国内企業との連携に引き続き力を入れる。

（4）TI本部及び国際機関との連携（国際的な贈賄防止体制への貢献・潮流づくり）

- ①TIのOECD贈賄防止条約履行監視活動に参加し、日本の履行状況を調査・報告する（3月）
- ②国連との連携 国連UNITAR広島事務所と連携し途上国からの研修生にガバナンス教育を行う（2月予定）
- ③デンマークで行われるTI総会に参加、IACCに参加（10月）、日本と各国の腐敗と腐敗防止の状況について情報交換する。今年は世界のガバナンス企業ベスト50社の表彰があり、日本企業が入る予定のため、表彰式に伴う予定（企業に打診済み）理事長及び理事1名予定
- ④台湾で行われるTIアジア太平洋地域会議に参加（6月） 事務局長
- ⑤TIチャプターの認証（12月） 事務局長

（5）会員向け

TIの活動の報告、相談
腐敗防止等の情報を提供（HP、メールマガジン）

(6) 管理

総務、会計、総会の開催、東京都への事業報告 6月

会員の活動への参加希望表明を複数受けているので、参加してもらう

(4) 今後の資金収支計画

昨年度は企業向け研修の講師派遣が増え、一昨年度の本部からの競争的事業補助金と同額程度になった。今年度も引き続き法人会員を増やすこと、企業向け研修・講演の派遣を増やすことで収入の増加を図る。

(6) 認定NPO法人の資格取得を目指し、寄付者への税制優遇の便宜を図る

以上

第15期 特定非営利活動に係わる事業会計収支予算
 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
 NPO 法人 トランスペアレンシー・ジャパン

(単位 円)

| 内 訳 | 金 額 | 摘 要 |
|----------|-----------|---------------|
| 前期繰越金 | 125,536 | |
| 収入の部 | | |
| 個人会費、寄付金 | 120,000 | 40名 |
| 団体会費 | 200,000 | |
| 助成金 | 50,000 | 本部や公的機関、財団から |
| 企業からの協賛金 | 2,500,000 | 講演料含む |
| TI原稿料 | 0 | |
| セミナー参加費 | 0 | |
| 収入合計 | 3,045,536 | |
| 支出の部 | | |
| 給与・謝金 | 2,000,000 | 給与、翻訳、講師謝金等 |
| 通信費 | 120,000 | |
| 消耗品費 | 100,000 | |
| 図書費 | 100,000 | 有料オンライン情報含む |
| 会議費 | 100,000 | セミナー会場費、打ち合わせ |
| 交通費 | 80,000 | |
| 印刷製本費 | 20,000 | 広報資料 |
| 外国旅費 | 0 | TI本部負担 |
| 支払手数料 | 5,000 | |
| 業務委託費 | 100,000 | 経理、HP制作を外注 |
| 家賃 | 130,000 | |
| 予備費 | 100,000 | |
| 支出合計 | 2,855,000 | |
| 収支差額 | 190,000 | |
| 次期繰越金 | 190,000 | |

平成29年度 貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパン

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|------------|---------|---------|---------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 120,136 | | |
| 未収金 | 5,400 | | |
| 流動資産合計 | | 125,536 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 125,536 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 26,814 | | |
| 預り金 | 64,744 | | |
| 流動負債合計 | | 91,558 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 91,558 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 30,016 | |
| 当期正味財産増減額 | | 3,962 | |
| 正味財産合計 | | | 33,978 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 125,536 |

平成29年度 財産目録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパン

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | |
|--------------|--------|---------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 手元現金 | 96,697 | |
| みずほ銀行普通預金 | 13,277 | |
| ゆうちょ銀行振替貯金 | 10,162 | |
| 未収金 | | |
| 情報収集・分析事業未収金 | 5,400 | |
| 流動資産合計 | | 125,536 |
| 2 固定資産 | | |
| 固定資産合計 | | 0 |
| 資産合計 | | 125,536 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | | |
| 通信費 | 8,670 | |
| 業務委託費 | 18,144 | |
| 預り金 | | |
| 源泉徴収税 | 64,744 | |
| 流動負債合計 | | 91,558 |
| 2 固定負債 | | |
| 固定負債合計 | | 0 |
| 負債合計 | | 91,558 |
| 正味財産 | | 33,978 |

平成29年度 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパン

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|--------------|-----------|-----------|
| I 経常収益 | | |
| 1 受取会費 | | |
| 正会員受取会費 | 182,000 | |
| 賛助会員受取会費 | 1,000 | 183,000 |
| 2 受取寄附金 | | |
| 受取寄附金 | 513,000 | 513,000 |
| 3 受取助成金等 | | |
| 受取補助金 | 0 | 0 |
| 4 事業収益 | | |
| 情報収集・分析事業収益 | 1,441,210 | 1,441,210 |
| 5 その他収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 経常収益計 | | 2,137,211 |
| II 経常費用 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1)人件費 | | |
| 給料手当 | 0 | |
| 人件費計 | 0 | |
| (2)その他経費 | | |
| 会議費 | 3,187 | |
| 旅費交通費 | 10,140 | |
| 通信運搬費 | 35,455 | |
| 消耗品費 | 36,843 | |
| 業務委託費 | 56,785 | |
| 謝金 | 1,316,950 | |
| 新聞図書費 | 50,400 | |
| 租税公課 | 920 | |
| 雑費 | 17,798 | |
| その他経費計 | 1,528,478 | |
| 事業費計 | | 1,528,478 |
| 2 管理費 | | |
| (1)人件費 | | |
| 人件費計 | 0 | |
| (2)その他経費 | | |
| 福利厚生費 | 8,590 | |
| 通信運搬費 | 85,492 | |
| 消耗品費 | 41,067 | |
| 修繕費 | 13,500 | |
| 業務委託費 | 47,852 | |
| 謝金 | 280,000 | |
| 支払手数料 | 6,070 | |
| 地代家賃 | 120,000 | |
| 租税公課 | 1,000 | |
| 雑費 | 1,200 | |
| その他経費計 | 604,771 | |
| 管理費計 | | 604,771 |
| 経常費用計 | | 2,133,249 |
| 当期経常増減額 | | 3,962 |
| III 経常外収益 | | |
| 経常外収益計 | | 0 |
| IV 経常外費用 | | |
| 経常外費用計 | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額 | | 3,962 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 0 |
| 当期正味財産増減額 | | 3,962 |
| 前期繰越正味財産額 | | 30,016 |
| 次期繰越正味財産額 | | 33,978 |